

男女共同参画社会の将来像の概要 (案)

【目的】 男女共同参画社会についての国民の理解を深め、国民各界各層で男女共同参画社会の実現に向けた様々な取組が行われるよう、2020年頃までの男女共同参画社会の状況(男女共同参画社会の将来像)について具体的なイメージを提示

我が国の経済社会の現状と課題】

—— 現状と環境変化 : 長期にわたった経済活動の低迷、グローバル化・情報化に伴う競争激化、少子・高齢化と家族形態の変化、地域社会の変化と治安の悪化、不安の高まり 等

—— 男女共同参画社会の形成の障壁 : 性別による固定的役割分担意識の根深い存在、仕事と子育ての両立困難と男性の長時間労働・低い、地域への参加、限定的な就業形態、処遇における男女格差 等

男女共同参画の取組の方向と 2020年の男女共同参画社会の将来イメージ

【政策・方針決定過程への女性の参画】 2020年までに社会のあらゆる分野において、指導的地位に占める女性の割合を少なくとも30%程度に引き上げるよう取り組む 等

多様な人材の活用による変化への対応に優れた柔軟な社会へ転換

【働く場】 男女の均等な機会と待遇の確保と多様な働き方に応じた適切な処遇、仕事と家庭の両立支援 等

男女ともに能力を最大限発揮でき、日本経済が活性化、閉塞状況の打破、多様な選択の実現

【家庭】 仕事と家庭の両立支援、高齢者の社会参画、配偶者暴力への対応 等
男性の参画で家庭が活性化、子育て・教育力の回復

【地域・その他】 地域活動への支援、生涯学習等教育の充実 等
誰でも地域活動に参画でき、地域機能が回復

【地球社会への貢献】 国際規範、基準の国内への取り入れ・浸透、男女共同参画の視点に立った政府開発援助の推進 等

国際的な取組の推進、我が国の男女共同参画の進展が諸外国から評価